

## 主な出来事

### 【内政】

- ・14日： バジエ(Bassolma BAZIÉ)前公務員大臣が当地AES連邦国内評議会(CN-CES: Commission nationale de la Confédération des États du Sahel)議長に就任。
- ・23日： 表紙に「AES」と刻印(裏面に同ロゴ)された新型旅券の導入を発表。
- ・28日： ブルキナファソ及び及びニジェールの複数都市にてECOWASからのAESの脱退を支持する集会が開催。ワガドゥグの集会にはウエドラオゴ首相が出席。
- ・29日： 愛国支援基金(Fonds de soutien patriotique)運用期間の1年延長を決定。

### 【外政・協力】

- ・7日： トラオレ大統領は、ガーナ・アクラで開催されたマハマ・ガーナ大統領就任式に出席。
- ・13日： 6日、マクロン仏大統領が大使会議にて、「一部の国がフランスに対する恩義を忘れている」と発言した件につき、トラオレ大統領は、「全てのアフリカ人に対する侮辱」であり、「恩知らずは寧ろマクロン仏大統領である」と非難。
- ・28日： ブルキナファソはマリ及びニジェールと共にECOWASから正式に離脱。

### 【治安】

- ・20日： サヘル地方セノ(Seno)県セイテンガ(Seytenga)近辺でモロッコ人トラック運転手4人が正体不明の武装集団により誘拐。

### 【日本との関係】

- ・9日： 長島大使は、令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ワガドゥグ市サンドゴB中学校拡張計画」引渡し式に出席。
- ・9-10日： 西野アフリカ第一課長はブルキナファソを訪問し、長島大使と共にウエドラオゴ首相、トラオレ外務大臣及びサナ治安大臣に表敬訪問。
- ・14日： 長島大使は、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ワガドゥグ市エザカ公立小学校校舎建設計画」G/C署名式に参加。
- ・16日： 日本往訪中のカルググ(Robert Jean Lucien KARGOUGOU)保健大臣は、厚労省を訪問し、仁木厚生労働副大臣と会談。
- ・18日： 長島大使は、ワガドゥグにて開催された日本文化イベント「Otaku Meeting」に出席。

## 【内政】

- ・ 1日： サンポレ(Célestin SIMPORÉ)国務大臣兼国防・退役軍人大臣は、中央東部地方ブルグ(Boulgou)県テンコドゴ(Tenkodogo)のコマンドー歩兵(RIC: Régiment d' infanterie commando)第61連隊を視察し、テロリストにとどめを刺すよう兵士を激励。
- ・ 14日： バジエ(Bassolma BAZIÉ)前公務員大臣が当地AES連邦国内評議会(CN-CES: Commission nationale de la Confédération des États du Sahel)議長に就任。
- ・ 21日： ギグマ(Tiraogo Sougrinoma Ibrahim GUIGMA)氏が大統領府広報課長に就任。
- ・ 22日： 2025年は11, 404人の公務員を新規採用する旨発表。
- ・ 23日： 表紙に「AES」と刻印された新型旅券の発行を発表。
- ・ 24日： バジエCN-CES議長が副議長3人を任命。国防・安全保障関連はイエレム(Ernest Auguste Guiwassa YELEMOU)氏、開発関連はシギレ(Adama SIGUIRÉ)氏、外交関連はダランクム(Sibidi Emmanuel DARANKOUM)氏。
- ・ 28日： ブルキナファソ及びニジェールの複数都市にてECOWASからのAESの脱退を支持する集会が開催。ワガドゥグの集会にはウエドラオゴ首相が出席。
- ・ 29日： 愛国支援基金(Fonds de soutien patriotique)運用期間の1年延長を決定。

## 【外政・協力】

- ・ 7日： トラオレ大統領は、ガーナ・アクラで開催されたマハマ・ガーナ大統領就任式に出席。
- ・ 9日： トルコ・ブルキナファソ友好議員団がソメ(Vinta SOME)駐トルコ・ブルキナファソ大使を表敬訪問。
- ・ 11日： ブグマ(Ousmane BOUGOUMA)暫定立法議会(ALT)議長は、ベネズエラ・カラカスにて開催されたマドゥロ・ベネズエラ大統領就任式に出席。
- ・ 11日： ベネズエラ訪問中のブグマALT議長は、ALTとベネズエラ議会との協力覚書に署名。
- ・ 13日： 6日、マクロン仏大統領が大使会議にて、「一部の国がフランスに対する恩義を忘れている」と発言した件につき、トラオレ大統領は、「全てのアフリカ人に対する侮辱」であり、「恩知らずは寧ろマクロン仏大統領である」と非難。
- ・ 18日： トラオレ外務大臣は、マリ・バマコにて開催された第3回「全国主権回復の日」イベントに出席。
- ・ 21日： モディ・ニジェール「国防大臣」が、5, 000人規模のAES合同軍を設立する旨発表。
- ・ 24日： 新任のミーナ(Om Prakash MEENA)駐ブルキナファソ・インド大使がトラオレ外務大臣に信任状の写しを提出。
- ・ 24日： ボロ(Issa BORO)外務次官は、ECOWASからの離脱の手續に係るAES外務大臣会合の準備会合を主催。
- ・ 26日： ワガドゥグにてサヘル諸国同盟(AES)の外務大臣らはECOWASからの離脱のための手續について共通のアプローチを確立すべく、会議を開催、報道発表を発出。
- ・ 27日： 外相会議出席のためワガドゥグを訪問していたAES3外相がトラオレ大統領を表敬訪問。
- ・ 28日： ブルキナファソはマリ及びニジェールと共にECOWASから正式に離脱。
- ・ 31日： ニヤンティ(Sara Beysolow NYANTI)リベリア大統領特使一行はトラオレ大統領を表敬訪問。

## 【経済・社会・文化】

- ・ 2日： メダ (Martha Céleste Anderson Dekomwin MEDAH) 大統領府官房長がトマ・サンカラ大学講堂の起工式に出席。
- ・ 15日： 国土調整庁 (ANCF: Autorité nationale de coordination du foncier) がワガドゥグのバイパスルート近辺に違法に建設された建造物を撤去。

## 【治安】

- ・ 1－2日： ブークルドゥムフン地方バンワ (Banwa) 県ソレンゾ (Solenzo) にて、第18迅速介入大隊 (BIR) 及びボランティア兵 (VDP) が、テロリストを一掃。
- ・ 7日： サヘル地方セノ (Seno) 県バニ (Bani) にて、戦闘部隊がテロリストの拠点を攻撃。
- ・ 7日： 中央北部地方ナメンテンガ (Namentenga) 県ブルサ (Boulsa) 方面への不審な動きが探知され、空爆を実施。
- ・ 8日： ゴロン (Goron) での偵察作戦中、BIR23はテロリストと衝突。
- ・ 9日： 北部地方クルペロゴ (Koulpélogo) 県メネ (Méné) で発生したテロリストの侵入は、空軍と地上部隊の迅速な介入により早期に制圧。
- ・ 10日： 中央北部地方サンマテンガ (Sanmatenga) 県ピバオレ (Pibaoré) のウエンブルグ (Wendboulgou) にて、レパード部隊がテロリストを撃退し、装備を回収。
- ・ 10日： ブークルドゥムフン地方スル (Sourou) 県トゥーガン (Tougan) のデュルム (Diouroum) にて、戦闘部隊が攻撃者に砲火を浴びせ、装備を奪取。
- ・ 12日： 中央東部地方ブルグ (Boulgou) 県フォティゲ (Fotigué) の混成分遣隊は、待ち伏せ中にワラクイに向かう犯罪者を無力化することに成功。
- ・ 15日： サヘル地方スム (Soum) 県ポベ・メンガオ (Pobe Mengao) 近郊で特殊部隊が武装集団を迎撃・排除。
- ・ 16－17日： 北部地方ヤテンガ (Yatenga) 県アオレマ (Aorema) にてテロリストの攻撃を撃退、オーバッサン地方フエ (Houet) 県ダルサラム (Darsalam) ではBIR18 (ソレンゾ (Solenzo) 駐屯) がテロリストの拠点を破壊し、大量の食糧と装備を押収。
- ・ 20日： サヘル地方セノ (Seno) 県セイテンガ (Seytenga) 近辺でモロッコ人トラック運転手4人が正体不明の武装集団により誘拐。

## 【日本との関係】

- ・ 9日： 長島大使は、令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ワガドゥグ市サンドゴB中学校拡張計画」引渡し式に出席。
- ・ 9日： トラオレ外務大臣は西野アフリカ第一課長の表敬を受け、食料安全保障を保障すべく、日本に対し水、道路インフラ、エネルギーの分野での支援を期待する旨述べたほか、課長の来訪及びこれまでの日本の支援に謝意を表明。

- ・10日： サナ (Mahamadou SANA) 治安大臣は西野アフリカ第一課長の表敬を受け、治安情勢及び今後の展望につき協議。
- ・10日： ウエドラオゴ首相は西野アフリカ第一課長の表敬を受け、農業、教育、インフラ、文化交流を通じた人々の統合など、多くの分野での両国間の協力強化につき協議。
- ・14日： 長島大使は、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ワガドゥグ市エザカ公立小学校校舎建設計画」G／C署名式に参加。
- ・16日： 日本往訪中のカルググ (Robert Lucien Jean-Claude KARGOUGOU) 保健大臣は、厚労省を訪問し、仁木厚生労働副大臣と会談。
- ・18日： 長島大使は、ワガドゥグにて開催された日本文化イベント「Otaku Meeting」に出席。

(了)